

『第12回五葉湖畔の集い in鷹生ダム』^{たこう}

令和5年7月23日（日）に五葉山の麓にある鷹生ダム周辺で「第12回五葉湖畔の集い in 鷹生ダム」が開催され、三陸中部森林管理署は「森と湖に親しむ旬間」岩手県実行委員会大船渡地区分科会のメンバーとして、木工教室を行いました。

私はコロナ禍で就職したためこのようなイベントは初めてであり、また木作りも小学校以来ということもあり、子供たちへの接し方や木作りの技術的なサポートが上手く出来るか心配で緊張していました。

しかし、時間は待ってはくれません。早速、親子連れがいらっしやいました。木工教室では小さな小物入れ、大きな小物入れ、本棚の3種類のいずれかを制作できます。特に小さな小物入れが好評で、真ん中の飾りは木彫りの熊風のクマ、パンダ、ゾウがあり、パンダが人気でした。

最初の子が選んだのは小さな小物入れのパンダバージョンです。親子で見本を見ながら、順番に板を組み立てていきます。途中、私たちが釘打ちのサポートをして、完成形に近づけていきますが、最後の1本が何度も曲がってしまうハプニング。ドキドキしましたが、ご両親の力を借りて、無事にかわいらしい小物入れが完成しました。



1枚ずつ組み立てていくよ！



金槌が少し重いけれど、がんばって～！！

その後も何組かの家族連れのお手伝いをして、回数を重ねるごとに作り方の説明や話題作りがうまくできるようになりました。

大胆に金槌を振り上げる子、慎重に細かく作業していく子、おしゃべりが好きな子、少し恥ずかしがり屋な子など、みんなタイプが違って、接し方が少し難しかったです。それでも、完成した木工作品を手に笑顔で喜んでもらえると、こちらも自然と笑顔になり、疲れも吹き飛ばすよう

でした。

予想通り子供たちの姿が多く見られましたが、年配の方や隣のテントの女性も参加してくださり、大盛況でした。木工教室に参加してくださったみなさんが木材や林業に少しでも興味をもっていただけたら幸いです。